

2025（令和7）年9月25日

西九州新幹線の2駅が国際的な鉄道デザイン賞を受賞！

鉄道・運輸機構（以下「機構」）の質の高いデザインへの取り組み等が認められ、『ブルネル賞 2025（駅舎部門）』において、西九州新幹線の長崎駅が「優秀賞」、嬉野温泉駅が「奨励賞」を受賞しました。

2025（令和7年）年9月24日（水）、国際的な鉄道デザインコンペティションであるブルネル賞 2025の授賞式がロンドンで開催されました。11年ぶりの開催となる今回は、世界中から120点以上の作品が応募され、鉄道専門家などの審査員による選考の結果、優秀賞に21件、奨励賞に19件が選ばれました。なお、新幹線と在来線の駅で一体的にデザインした長崎駅は、九州旅客鉄道株式会社との連名での受賞となりました。



左：機構 長谷川理事長代理
右：JR九州 青柳会長



贈呈された表彰状・盾

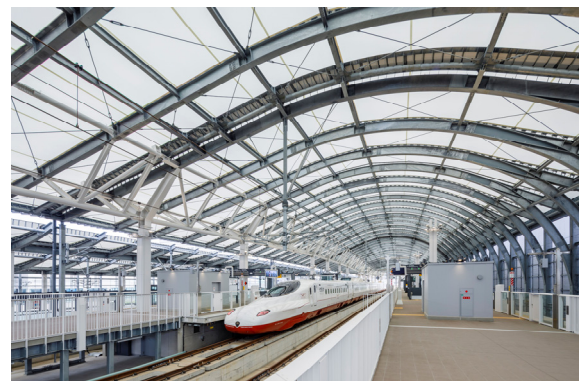
【西九州新幹線 長崎駅について】

デザインコンセプトは「長崎の新たな玄関口 ～長崎らしさを体現する駅舎～」です。

海へと向かう視線の抜けを演出する三次元的な上家や、来訪者を柔らかな光で迎え入れる膜屋根、山と海に囲まれた長崎市街の中心に位置する駅とまちとの劇場関係を創り出す透明感のあるガラススクリーンなどが特徴です。なお、長崎駅や駅周辺のデザインは、県・市と専門家で組織された「長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議」での議論を踏まえて策定されたデザイン基本計画に基づいています。



外観



内観（プラットフォーム）

【西九州新幹線 嬉野温泉駅について】

デザインコンセプトは「～心とろけるおもてなし～未来へつながる出逢いの舞台～」です。

焼物を用いた細い縦格子や軒の深い切妻屋根などの和の構成によって、歴史ある嬉野の湯宿の装いを表現しています。また、奥行き異なる材料により陰影を出し、深みのある表情を与えています。



外観



内観（コンコース）

【ブルネル賞とは】

「駅舎」「工業デザイン・システムデザイン」「技術インフラ・環境」「車両」の4つの部門において優れた鉄道デザインを表彰することを目的とし、1985年にワトフォード会議※によって創設された国際的なコンペティションです。部門ごとに「優秀賞」と「奨励賞」が選定され、また、複数の部門にわたってデザインに対する姿勢が最も優れた企業・団体には「審査員賞」が贈られます。

なお、当機構が手がけた駅舎ではこれまでに3件が受賞しています。

(参考 URL: <https://brunelaward2025.awardstage.com/>)

機構におけるブルネル賞受賞歴

受賞年	賞	路線および駅
2005（平成 17）年	奨励賞	みなとみらい線 みなとみらい駅
2011（平成 23）年	優秀賞	九州新幹線 新鳥栖駅
	奨励賞	九州新幹線 新玉名駅

※ワトフォード会議について

ワトフォード会議は、1963年に英国、オランダ、スウェーデンの鉄道行政に携わる建築家やデザイナーが、鉄道デザインに関する経験や考え方を情報共有することを目的として集まった会議に端を発します。会議の名称は、最初の開催地であるイギリス南部の町ワトフォードから命名されました。

現在では日本を含む世界約20か国、50を超える鉄道関連団体が参加し、国境を越えた議論や意見交換を通じて、鉄道のデザインや建築のさらなる発展を目指しています。

＜本件に関するお問合せ先＞
建設企画部 建設企画課 TEL 045-222-9055

